

作者のことば

旭日開晴色 寒空失素塵 繞牆全剥粉 傍井漸消銀 刻獸摧鹽虎
爲山倒玉人 珠還猶照魏 壁碎尚留秦 落日驚侵晝 餘光誤惜春
簷冰滴鵝管 屋瓦鏤魚鱗 嶺霽嵐光折 松暄翠粒新 擁林愁拂盡
著砌恐行頻 焦寢忻無患 梁園去有因 莫能知帝力 空此荷平均
寒氣先侵玉女扉 清光旋透省郎闌 梅花大庾嶺頭髮 柳絮章台街裏飛
欲舞定隨曹植馬 有情應濕謝莊衣 龍山萬里無多遠 留待行人二月歸

書に向き合う時間は、無心、無

音の世界です。特に多字数は、集

中力が必要で、忙しい時ほど書

が精神安定に役立ちます。

氏名

（宮本）香洋